

輸出事業計画

※申請者名：株式会社カン喜、品目：冷凍かき、かきフライ、殻付かきグラタン等

1. 輸出における現状と課題

当社は、日本冷凍食品協会より認定された国内自社工場で主に「冷凍かき」、「かきフライ」、「殻付かきグラタン」などの牡蠣を原料とした冷凍加工食品を製造販売している。先代社長が掲げた「ひとづくり」という企業理念を継承、障がい者や高齢者を積極的に雇用している。

牡蠣をグラタンやフライ等に高次加工し、より高い付加価値をつけることで、国内市場で一定の販路を確保してきた。しかし、国内市場は価格競争が激しく、適正な価格での販売が困難になってきた。

今後、障がい者や高齢者の雇用の安定化と更なる拡充という理念を維持するためには、かき製品の需要確保、拡大に向け、新たな市場として成長が見込まれる海外市場の開拓を進めていく必要がある。



2018年ベトナム日本産農水産物・食品輸出商談会
主催者：日本貿易振興機構

課題

- ア) ハード面の老朽化への対応 イ) コロナ禍による商談機会の逸失
- ウ) 原料の確保 エ) 新たな商流の開拓

2. 輸出事業計画の取組内容

ア 輸出先国の衛生基準を満たす施設の改修、機器の更新

・輸出国を更に増やすためのFSSC22000、EU-HACCP認証取得に向けた設備更新計画を策定する。

・FSSC22000、EU-HACCPの衛生基準を満たす改修、機器の更新

・R3補正HACCPハード事業を活用して冷凍製品保管施設を整備

イ コロナ禍による商談機会の確保

JETROのオンライン商談会への積極参加、JETRO食品輸出・ウェビナーの受講により、アフターコロナへの対応を迅速にできるよう準備を進める。

ウ 原料の確保と新商品開発

・かき原料供給元と連携・強化を図るため、安定した製品づくりができるよう海外のニーズについての情報提供を行う。

・地域の産品を使用することを基本とした新製品開発注力する。既存取引先とは市場情報の交換により新たな提案を出来る準備を行う。

・かき原料産地と大粒のかきの育成に向けた取り組みとして、各国のニーズなどの情報交換や大粒かき育成についての情報共有を弊社を介して行う。

輸出事業計画

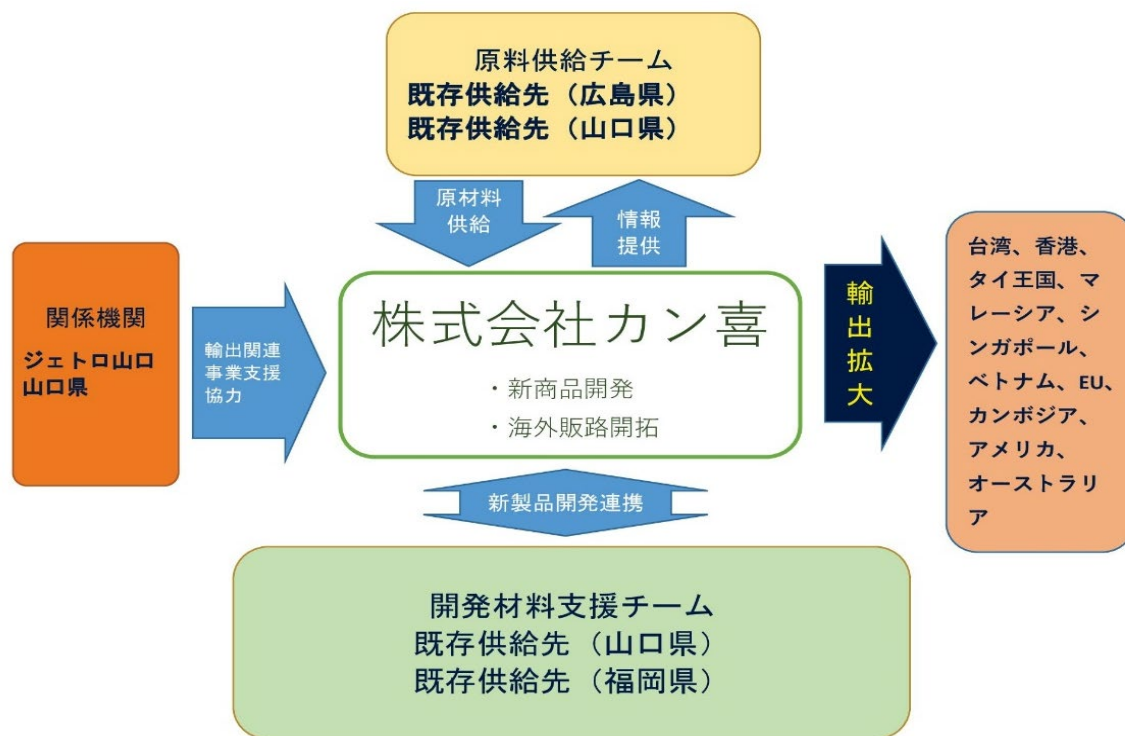
※申請者名：株式会社カン喜、品目：冷凍かき、かきフライ、殻付かきグラタン等

2. 輸出事業計画の取組内容

Ⅰ 新たな商流の開拓

- ・輸出先の需要をふまえて、産地対応が必要な情報については生産者へフィードバックを行う。
- ・輸出に意欲的な生産者を中心に現地のニーズを伝えることで輸出向け生産量拡大の協力者を増やし、品質の高い商品を輸出向けに供給できる協力体制を構築する。
- ・産地（生産者）、加工者、輸出者ともに安定した雇用を創出し各工程での後任育成にも寄与し、持続可能な産業として主に瀬戸内地域で連携して輸出拡大を目指す。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



- ・海外既存取引先の販売品目の拡大で輸出売上拡大を目指す。
- ・直接貿易を行うためのオンラインを含む商談会への参加
- ・ジェトロ山口、山口県からの情報を頂き、海外商談機会を得る

輸出事業計画

※申請者名：株式会社カン喜、品目：冷凍かき、かきフライ、殻付かきグラタン等

4. 輸出目標額

品 目		現 状 (2021年3月期)	目標年 (2028年3月期)
冷凍かき	輸出額(千円)	32,289	72,700
	輸出量 (t)	27.95	62.94
	輸出先国	香港、タイ、ベトナム、カンボ ジア	台湾、香港、タイ、EU、カンボジア
かきフライ	輸出額(千円)	21,653	103,100
	輸出量 (t)	20.61	98.17
	輸出先国	台湾、アメリカ、UAE	台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガ ポール、ベトナム、EU、カンボジア、アメ リカ、UAE、オーストラリア
殻付かきグラタン	輸出額(千円)	－	2,000
	輸出量 (t)	－	1.02
	輸出先国	－	台湾、香港、タイ、EU
合計	輸出額(千円)	53,942	177,800
	輸出量 (t)	48.56	162.13